

極東開発工業 新西部パーツセンターが完成 ～中部パーツセンターを統合し部品供給体制の強化と効率化を実現～

極東開発工業株式会社（本社：大阪市中心区 社長：布原 達也 以下、当社）は、兵庫県三木市にて建設を進めておりました新西部パーツセンターが完成しましたことをお知らせいたします。

当社は、主力事業である特装車事業の部品販売・供給拠点として、西部パーツセンター（兵庫県三木市、保管品目数：10,300 品目）、中部パーツセンター（愛知県小牧市、保管品目数：7,100 品目）、東部パーツセンター（神奈川県大和市、保管品目数：6,750 品目）を、それぞれ運営しております。

今回、部品供給体制のさらなる効率化とサービス品質の向上を目的として、西部パーツセンターを隣接地に移転拡張の上、中部パーツセンターを統合いたします。（※1）

両センターの機能を集約することで約 15,000 品目（予定）の部品を保管することが可能となり、より迅速かつ安定した部品供給体制を確立いたします。

（※1）2025 年 7 月より先行して西部/中部パーツセンター（およびパーツセンター購買課）の事務機能を新西部パーツセンターに移転いたします。今後、両センターからの部品移管を経た完全移転は 2026 年 1 月の予定です。



新西部パーツセンター

新西部パーツセンターは自動倉庫棟・倉庫棟・事務所棟の3棟構造となっており、自動倉庫棟は高さ21m級のパレット自動倉庫（最大収容数：1,502パレット・搬送クレーン台数：3台）と、高さ15m級のバケット自動倉庫（最大収容数：8,184バケット・搬送クレーン台数：3台）の2種類の自動倉庫設備を導入して部品の収容効率化と搬送の自動化を図るほか、倉庫棟においては大物・長尺・重量部品の収容が可能な重量ラックと専用ラックフォークの導入に加え、各自動倉庫への搬入（入庫）ステーションを備え、作業効率のより一層の向上を実現します。（※2）

なお、屋根上には当社グループの部品販売・供給拠点として初めて太陽光パネル（227kW）を設置し、クリーンエネルギーの利用によるCO₂排出量の削減をはじめとした環境への対応も図っています。

（※2）自動倉庫棟・倉庫棟の各種設備の導入は2025年12月に完了予定。

これにより特装車製品の部品供給体制を大幅に強化し、お客様のニーズに迅速に対応することを可能としました。

極東開発グループでは今後とも特装車事業の増強を進め、アフターサービスの品質向上と、ストックビジネスの強化に注力してまいります。

【概要】

- | | |
|---------|--|
| 1. 名称 | 極東開発工業株式会社
西部パーツセンター / パーツセンター購買課 |
| 2. 所在地 | 兵庫県三木市別所町巴16（三木工場公園内） |
| 3. 事業内容 | 特装車用部品の保管・販売、調達 |
| 4. 面積 | 敷地面積：約4,950㎡ / 延床面積：約5,965㎡ |
| 5. 建物概要 | 3棟構造：自動倉庫棟 + 倉庫棟 + 事務所棟（2階建） |
| 6. 連絡先 | TEL：0794-82-2974 FAX：0794-82-4210 |

＜広報お問合せ先＞
極東開発工業株式会社 法務広報部
〒541-8519 大阪府中央区淡路町二丁目5番11号
電話 (06) 6205-7826 F A X (06) 6205-7830
ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>



極東開発グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。